

## 修 士 論 文 の 和 文 要 旨

研究科・専攻	大学院 電気通信学専攻 情報工学専攻 博士前期課程		
氏 名	草野 孔希	学籍番号	0831012
論 文 題 目	周辺アウェアネスに配慮したマルチメディアフィードブラウザ		
<p>要 旨</p> <p>本研究ではデスクトップ環境の周辺領域を活用したマルチメディアフィードブラウザ：Nicolith2.0を実現した。また、周辺領域における適切な情報提示量や情報提示手法に関する予備的な心理実験の実施と共に、Nicolith2.0の実証実験を実施した結果、本提案は周辺アウェアネスを活用してマルチメディアフィードを気軽に楽しめるシステムとして有用であることが示唆された。</p> <p>インターネットには大量のマルチメディアコンテンツが存在し、更に動画共有サイトが配信するフィード（マルチメディアフィード）を利用する事で効率良くマルチメディアコンテンツを収集できる。しかし、フィードの購読に現存するフィードリーダを用いる場合、収集した記事をまとめて読む為の時間と労力を要する。その為、TVの視聴手法として広く浸透している「ながら見」という受動的なコンテンツ閲覧手法を、既存のフィードリーダで用いることは難しい。</p> <p>本研究では、主作業ではあまり利用されない周辺領域を活用することで、何か作業をしながらでも気軽にマルチメディアフィードを楽しめるマルチメディアフィードブラウザ：Nicolith2.0を提案する。Nicolith2.0では、周辺領域を活用して主作業の邪魔にならない情報の持続的な提示、及び情報への自然な気付きと情報の素早い取得が可能な環境を目指した。また、周辺領域における適切な情報提示方法についての予備的な実験を実施し、アニメーションが少なく主張が小さい情報提示が望ましいとの知見を得た。更に、Nicolith2.0の実証実験を通じて、マルチメディアフィードを気軽にしながら見する上でNicolith2.0の設計は有効であることが示唆された。</p>			